

第7回 大阪・構造物非破壊診断交流会 (ONDA) 議事録

日 時：平成20年2月6日(水) 15:00~17:00

場 所：(財)日本建築総合試験所 大阪事務所(フルサトビル) 4F B会議室

出席者：鎌田会長, 葛目幹事, 永山幹事, 吉田, 内田, 藤原(記録)

以上6名(順不同, 敬称略)

配布資料：7-0 第7回 大阪・構造物非破壊診断交流会 (ONDA) 議事次第

7-1 第6回 大阪・構造物非破壊診断交流会 (ONDA) 議事録(案)

— ONDAのHP掲載用資料案 —

7-2-1 ONDA講座「コンクリートにおける弾性波の適用について」(阪大)

7-2-2 社会基盤インフラ(下水道など)のメンテナンスに役立つDr. Impact(阪大)

7-3-1 電磁誘導法による鉄筋破断調査(KSE)

7-3-2 超音波斜角法による鉄筋破断調査(KSE)

7-4-1 ドリルPR試験法(GRBC)

7-4-2 コンクリート構造物の遠隔腐食モニタリング法(GRBC)

7-5 放射線透過試験(NDI)

7-6 JCI読者コーナー「何事も経験! ONDA事務局奮戦記」

議 事：

1. 会長挨拶

開催の挨拶を代理で内田会員が行った。

2. 第7回議事次第

内田会員より, 本日の交流会の話題と進め方について説明があった。

3. 第6回議事録(案)の確認

吉田会員より説明があり, 内容確認が行われ承諾された。

4. ONDAのホームページの内容について

JCIの学会誌「コンクリート工学」2008年2月号の「読書コーナー」に, ONDAを紹介した内田会員の手記が掲載された。今後は, HPへの来訪者が増加すると予想されるので, 内容をより充実させる必要がある。これについての検討要旨を以下に示す。

(1) HPを技術紹介のツールとして使用できることが望ましい。

(2) HPの構成は以下の通り。なお, これらはMENUとしてトップページに示す。また, トップページをもう少し目立つように装飾することも検討する。

- ・ 新着情報
- ・ トピックス
- ・ ONDA講座

・ 活動情報

- (3) 当面は、トピックスの充実を目指す。トピックスの内容は、ONDA 会員の非破壊検査技術や試験・分析技術等の概要紹介とする（本日の資料が原案）。なお、トピックスに掲載する資料のスタイルは今後統一していく。また、ONDA で検討した内容をトピックスに組み入れることも検討していく。
- (4) 各トピックスのページには、それらについての論文のフル・タイトルと発表年月を示す。そこをクリックして各論文の pdf ファイルを引き出せるようにする。
- (5) 近い将来、Q&A コーナーを設立する。

5. 今後 ONDA で取り組む課題について（次回の議題）

非破壊技術の基礎的研究のための供試体作製や、検査技術の精度や適用性を検証するための標準供試体を作製してはどうかとの提案があった。取り組むべき課題については、次回案件を提示して改めて検討する。

6. その他

永山幹事より、日本建築総合試験所に EPMA が新たに導入されたことの報告があった。また、吉田会員から、この装置は従来の一般的な装置と比べて、より広い範囲を一度に走査できる利点を有しているとの解説があった。

7. 今後の予定

第8回交流会：平成20年4月22日（火）15：00～17：00

場所：大阪大学中之島センター

以上

（記録：藤原）